

府中東高校 2023年度 公共 年間授業計画

教科：(公民)科目：(公共) 対象：(第2学年)

使用教科書:高等学校 新公共(第一学習社)

使用教材:クローズアップ公共2023(第一学習社)、新公共ノート(第一学習社)

教科の目標

【知 識 及 び 技 能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようする。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自國を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習取り組む態度】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりすることができる。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとすることができる。

学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数	
		知	思	主		
1 学期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして	・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。（知） ・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。（思） ・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。（主）	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢	6
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 ①人間と社会のあり方についての見方・考え方	・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。（知） ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。（思） ・公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。（主）	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢	
	第3章 公共的な空間における基本的原理 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本的原理	・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。（知） ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。（思） ・公共的な空間における基本的原理について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。（主）	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢	
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権利	・法や規範の意義及び役割に関する現実社会の事柄や課題を理解している。（知） ・中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。（思） ・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。（主）	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢	7

学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
		知	思	主	
2 学期	主題2 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 主題3 司法参加の意義 ①裁判所と司法 ②国民の司法参加	・契約と消費者の権利・責任に関する現実社会の事柄や課題を理解している。(知) ・政治分野の国会・内閣のしくみとも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。(思) ・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。(主)	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢
	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉 主題5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題	・政治参加と公正な世論形成に関する現実社会の事柄や課題を理解している。(知) ・国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている。(思) 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。(主)	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢
	主題6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和 主題7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割	・日本の安全保障と防衛に関する現実社会の事柄や課題を理解している。(知) ・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。(思) ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。(主)	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢
	第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題	・雇用と労働に関する社会の事柄や課題を理解している。(知) ・法分野の基本的人権とも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。(思) ・雇用と労働問題について、自分の将来のあり方について考えようとしている。(主)	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢

学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
		知	思	主	
	○○○○○。(上)				

学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数	
		知	思	主		
3 学 期	主題9 ①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業 主題10 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉	・社会の変化と職業観に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。(知) ・歴史など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。(思) ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。(主)	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢	6
	主題11 金融のはたらき ①金融の意義と役割 ②金融のいま 主題12 財政の役割と社会保障 ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからのかの社会保障	・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。(知) ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。(思) ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。(主)	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢	
	主題13 経済のグローバル化 ①国際分業と貿易 ②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き ④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合 ⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題 ⑧資源・エネルギー問題 ⑨国際社会のこれから	・経済のグローバル化に関わる事柄や課題を理解している。(知) ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。(思) ・経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。(主)	定期考查 小テスト	定期考查 課題レポート	提出物 参加姿勢	6

合計 70